

# ふれあい新聞

第48号 平成10年10月1日 一田中野田町内会一

## 【特集】町内会夏まつり

### 田中野田町内会夏まつりに寄せて

藤本 美代子

第15回田中野田夏まつりは、準備も整い8月8日本番を迎えましたが、夕方夕立で翌9日に順延。またまた9日も夕刻に夕立。しかし、夏まつりが始まる頃は、晴れたものの足元は悪い。7時15分、田中野田町内会スローガン「助けあう街、きれいな街、たのしい街」と書かれた垂れ幕の前で、まず町内会長さんの力強いご挨拶で始まった。歌謡ショー、皆んな競ってのどを披露、剣詩舞の熱演につづいて、小学5・6年生女子の銭太鼓、中学生女子と地元婦人の仲良い共演、小学生男子の樽太鼓と、次々と舞台では熱演が繰り広げられました。

女の子は夏休み中クラブ活動の忙しいなか、暑い日、おばあちゃんと一緒に、まさに世代を越えて稽古に懸命、お母さま方も見守ってくださいました。樽と太鼓の練習に暑い日、指導の先生の特訓につづいて、男の子の逞しさを感ずる、すばらしい演技、エッ、オッの力強い掛け声に、観客は皆惜しめない拍手をおくりました。勿論お稽古には、大勢のお父さまが見守ってくださったそうです。

近年、次々と出る低年齢化した子供の犯罪、とかく近隣の輪等なく、この頃の子供は？…と、不平不満ばかり。田中野田町内会は、大人と子供が一緒になって楽しむ夏まつりをと、企画され実行されておられます。このような美しい街から、少年非行は生まれません。まつりの最後は盆踊り、チビツ音頭にはじまった踊りの輪は、大きく大きくなり楽しそうでした。終わったら、もっと踊りたいのにと、物足りなさを感じておいでの方も居られました。

この夏まつりに見られるような、皆さんが楽しめる運営がなされている町内会は、他には無いのではないのでしょうか。銭太鼓、盆踊りの指導を、第1回目から担当させていただいております私といたしましては、感無量でございます。今後、町内会がますます発展されますよう祈ってやみません。

## 樽太鼓に挑戦！

(小六) 島津 啓吾

「痛てっ！ まめができた。」練習の初日だというのに、僕は弱音をはいていました。でも、そんな気持ちは1週間くらいで飛んでいってしまいました。慣れると、まめもそうできなくなり、練習に行くのが楽しくなりました。また、みんなで教え合ったり、難しい所ができた時などは、とてもうれしかったです。練習は暑く厳しくて大変でした。

本番は雨で1日延期されました。僕の目標は一度もまめがえないことでした。舞台上がり、みんなの前に立った時は、ものすごく緊張したけれど、いざ太鼓を打ち始めると、練習通りのペースで一度もまめがえりませんでした。また、終わった時にももらった拍手はとても気持ちがよかったです。初めてのことで、最初はちよつとまとどつたけれど、みんなが助けてくれて最後までやり通せたので、挑戦してよかったと思います。これからもいろんなことに挑戦してがんばっていきたいです。

## 銭太鼓に参加して

(中二) 佐藤 舞

今年はひさしぶりに銭太鼓に参加することができ、とてもうれしく思っています。本当は、あんなにうまいおばあちゃん達と一緒にやって、足をひっぱったりしないか。それが不安でたまりませんでした。おばあちゃん方がやさしく教えて下さったので、そんな不安もきえて、みなさんと簡単にうちとけました。

それでも練習は覚えることが大変で、特にまわすところが一番むずかしいと、みんなと首をかしげながらがんばって練習をしました。中学生といったら、この季節は部活動や多い宿題などで忙しい毎日の中ですが、私はみんながやる気をだして、みんなでやりたいという気持ちがあったからこそ、あんなにむずかしいのもできたのだと思います。

当日も、私達はひさしぶりの緊張感で胸がドキドキして落ちつかないし、舞台上で落としたりしないか？ まめがったりしないか？ 不安でしたが、曲が終ると同時に達成感、満足感を胸いっぱいを感じる事ができました。クラスや学年がちがう私達が一つになることは大切だと思います。これはさそってくださった方達、そして何よりも私達のやる気があったからこそ、あんなに上手にできたんだと思っています。また、来年も町内の行事に積極的に参加しようと、今から楽しみにしています。

## 田中野田夏まつりを終えて

実行委員長 和気 健

今年で15回目の夏まつりは、雨でたたられるなか、何とか無事に開催することができました。ご協力をいただきました、町内会をはじめとする各種団体のお陰と、深く感謝申し上げる次第です。

この夏まつりは、改めて云うことでもありませんが、町内の住民同士の融和と親睦を深める上での役割は大きく、少しでもその目的を果たすべく工夫をしたつもりでした。皆様にとってどのような夏まつりだったのか、意見を聞かせていただければ幸いです。そして、これからも町内コミュニティの象徴として、継続してゆきたいと思っています。



夏まつり前、舞台の設置作業(上)と当日の寸描(下)